

(8) 取組の評価項目について

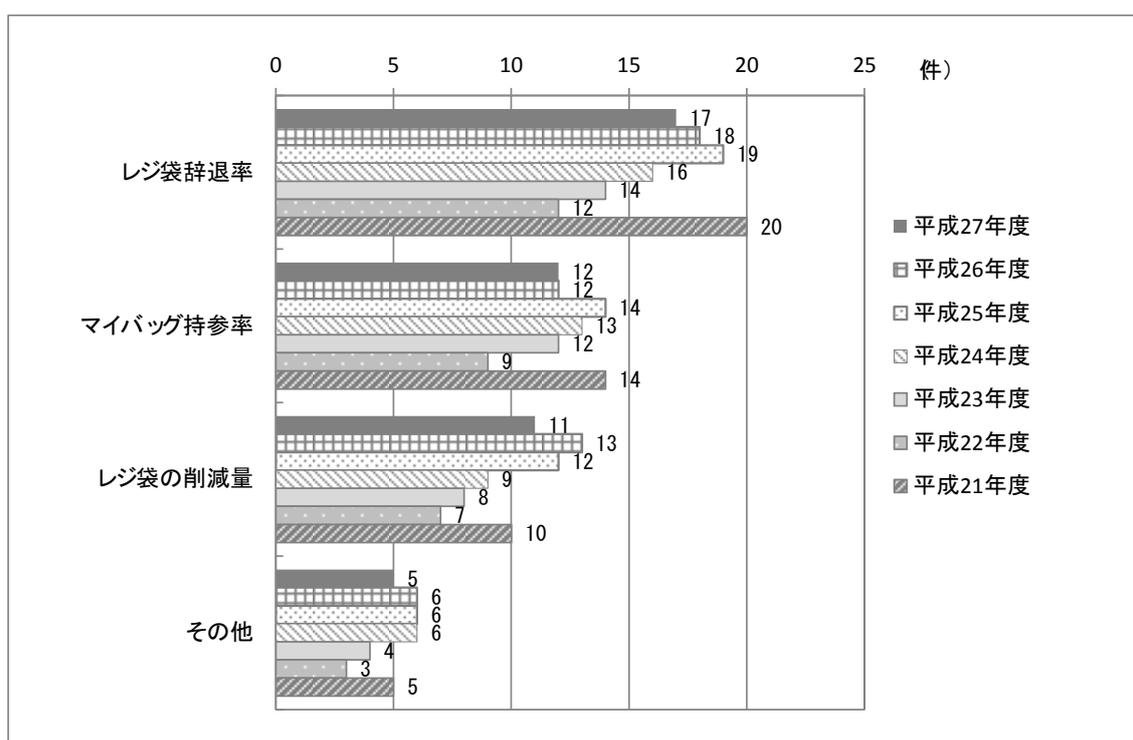
■今年度の特徴

「レジ袋辞退率」を評価項目と設定している自治体が最も多い。

■トレンド

平成 22 年度より、「レジ袋辞退率」、「マイバッグ持参率」、「レジ袋の削減量」どの評価項目も増加傾向にあったが、今年度は、「レジ袋辞退率」、「レジ袋削減量」は、昨年度よりわずかに減少、「マイバッグ持参率」は横ばいとなっている。

取組の評価項目について（複数回答）（都道府県）



- 評価項目に「レジ袋辞退率」を用いているのが 17 件、「マイバッグ持参率」を用いているのが 12 件、「レジ袋の削減量」が 11 件、「その他」が 5 件となっている。なお、いずれの評価項目を設定していない自治体は、18 件であった。
- その他の内容としては、「レジ袋削減に取り組む市町村数」（熊本県）、「マイバッグ推進デー協力店舗数」（福島県）、「原油削減量、二酸化炭素削減量」（山梨県）が挙げられている。